お問い合わせ先
大里農林振興センター 農業支援部
熊谷市久保島1373-1
TEL. 048-526-2210 FAX. 048-526-2494

麦類は種期の作業

令和7年産（6年まき）の麦類は、出芽苗立は順調だったものの、2月の平均気温が過去10年で3番目に低かったことから、生育量が少なく茎数不足になりました。しかし、登熟期間の定期的な寒暖と降雨により、じっくりと登熟が進んだため、適期は種では多収傾向、遅まきでは穂数不足により減収傾向となりました。

また、開花期の降雨の影響で赤かび病の発生も見られました。

以下の管理ポイントを踏まえて、は種期の作業を行いましょう。

排水対策・土づくり

●排水対策として水稲収穫後速やかに、ほ場の周囲とほ場内5～10m間隔で排水溝を設置し、適期は種ができるようほ場の乾燥を早めましょう。排水溝は排水路につなげて速やかに地表水を排水させます。

●カッタで切断した稲わらは、焼却せずにすき込みましょう。この時、分解を促す石灰窒素を10a当たり20kg施用しましょう。

●完熟たい肥を10a当たり1t施用しましょう。たい肥の散布が難しいときは、ペレット状の濃縮たい肥も有効です。

●麦は酸性に弱い作物です。酸性に偏った土壌では、葉の黄化や生育抑制等の障害が発生します。事前に土壌酸度を調べ、pH6・0～6・5を目標に必要量の石灰質肥料を施用しましょう。

●ビール大麦や六条大麦は小麦よりも酸性に弱いので石灰質肥料を積極的に施用しましょう。

なお、麦の発芽障害を避けるために、石灰質肥料は、は種の2週間前までに散布しましょう。

施肥・は種

●毎年必ず種子更新を行いましょう。

●収量と品質（たんぱく含量）を確保するため、下表を参考に麦の種類に応じた肥料を確実に施用しましょう。

●必ず種子消毒をして、は種適期に薄まきを徹底しましょう。

除草剤散布

●雑草防除は、は種後の土壌処理が最も効果的です。特に、カラスムギ、ネズミムギ、スズメノテッポウなどの難防除雑草は、雑草の出芽前までに除草剤散布することで効果が安定します。

●は種作業と除草剤散布はセットで行いましょう。は種後の除草剤散布が遅れた場合、その間に雑草が発生することがあります。降雨が予想される場合は、は種直後に除草剤が散布できるか判断して作業しましょう。

●は種後の鎮圧は、除草剤の効果を高めるとともに、土壌水分が低い時の出芽を良好にします。ただし土壌が湿潤な場合は湿害を助長するため、土壌の状態で判断しましょう。

大里農林振興センター 農業支援部

表1　麦類の品種別施肥、は種方法

品種	は種適期	は種量	施肥窒素量	施肥例　ドリルまき（高度化成14-14-14）
さとのそら	11月20日～30日	5～7kg/10a	基肥　6～7kg/10a 追肥　出穂前までに4kg/10a	基肥　45～50kg/10a 追肥　20～30kg/10a
あやひかり	11月20日～30日	6～8kg/10a	基肥　8kg/10a 追肥　茎立前に2～3kg/10a	基肥　60kg/10a 追肥　15～20kg/10a
すずかぜ	11月15日～25日	5～6kg/10a	基肥　7kg/10a 追肥　茎立前に2kg/10a	基肥　50kg/10a 追肥　15kg/10a
ニューサチホゴールデン	11月15日～25日	5～6kg/10a	基肥　6～7kg/10a 追肥　低たんぱくほ場では茎立前に2kg/10a	基肥　45～50kg/10a 追肥　15kg/10a（低たんぱくほ場）

★今月のあなたの運勢★ 10月 乙女座 8/23～9/22　☆モナ・カサンドラ

【全体運】順調運。秋の味覚を楽しむなど生活に彩りを添えて。レジャーもお薦めです。交渉は相手の出方を待つのが吉

【健康運】話題のストレッチを試してみて。いい刺激になります　【幸運の食べ物】ニンジン